

ECAALGA

日本無線(株)における新規設計非推奨情報の 活用事例

日本無線株式会社

JEITA
ECCENTER

ECAALGA

— 目 次 —

1. EOL情報の重要性
2. 新規設計非推奨情報の有用性
3. 新規設計非推奨情報の活用事例
4. まとめ

1. EOL情報の重要性

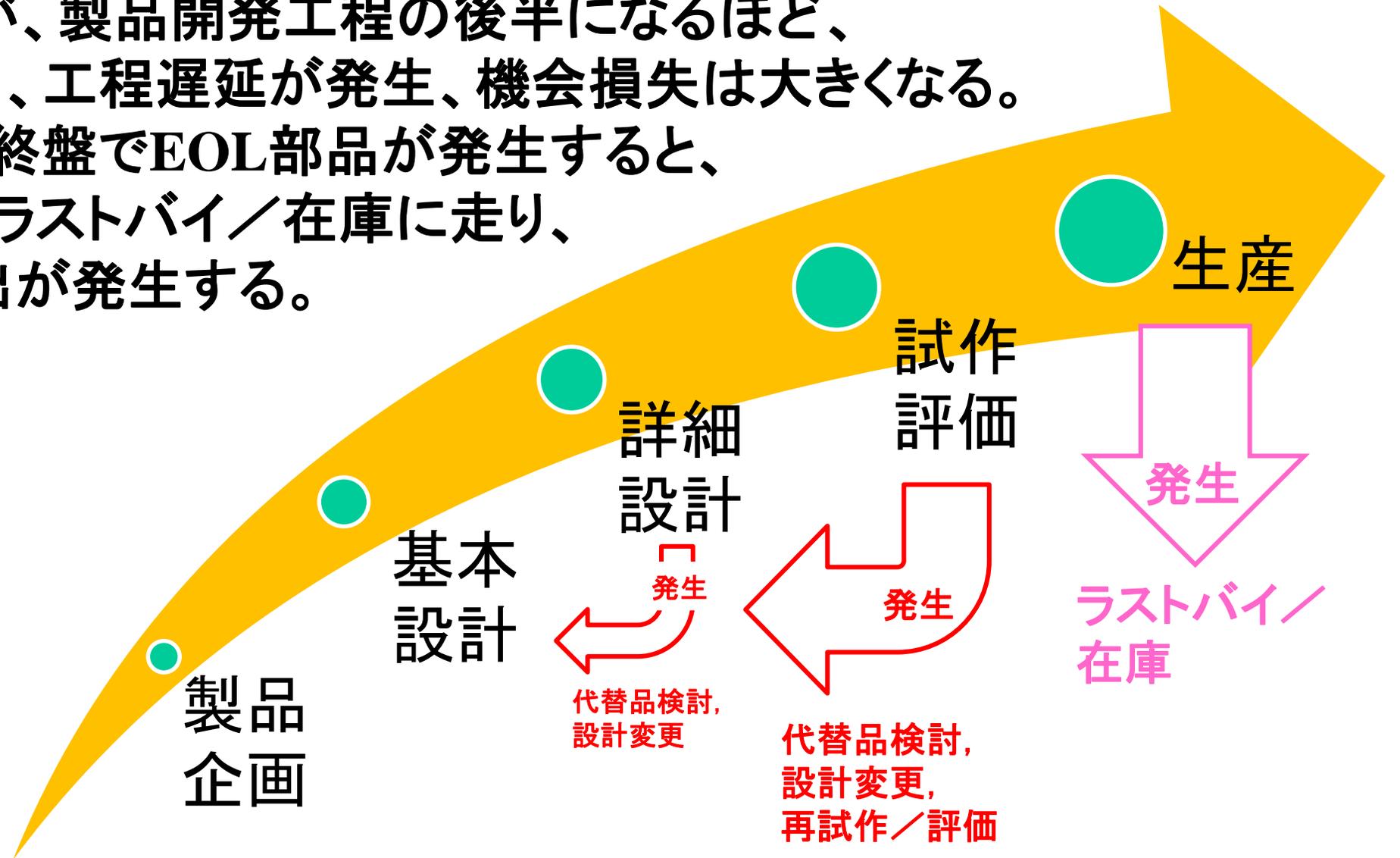
- 発注者(セットメーカー)としては、EOL※情報を早く察知して、新規設計製品への適用を防ぐことが重要
↓ これを怠ると、
- 代替品検討／適用による市場リリースの遅れ→機会損失
- ラストバイによる在庫確保→見込み外れは資産損失

EOL情報の入手遅れは、あらゆる損失が発生する。

※ EOL=End of Life 生産中止, 生産中止予定, 新規設計非推奨

1.1 製品開発工程への影響

EOL部品の発生が、製品開発工程の後半になるほど、後戻りが大きくなり、工程遅延が発生、機会損失は大きくなる。また、開発工程の終盤でEOL部品が発生すると、納期確保のため、ラストバイ／在庫に走り、思わぬ資金の流出が発生する。



1. 2 代替品の検討

- 代替品の情報

メーカー推奨品があれば探さなくても済むが、無ければ他メーカー品を探す手間／時間がかかる。

- 代替品の検討

形状／性能／メーカーが同一部品であれば、検討／評価時間はさほど必要無いが、差異が生じる場合は、検討／評価時間がかかる。

更に、性能が異なる代替品にならざる場合には回路の再設計、また形状が異なる代替品の場合にはプリント基板の再設計による多大な設計時間とコストが発生する。

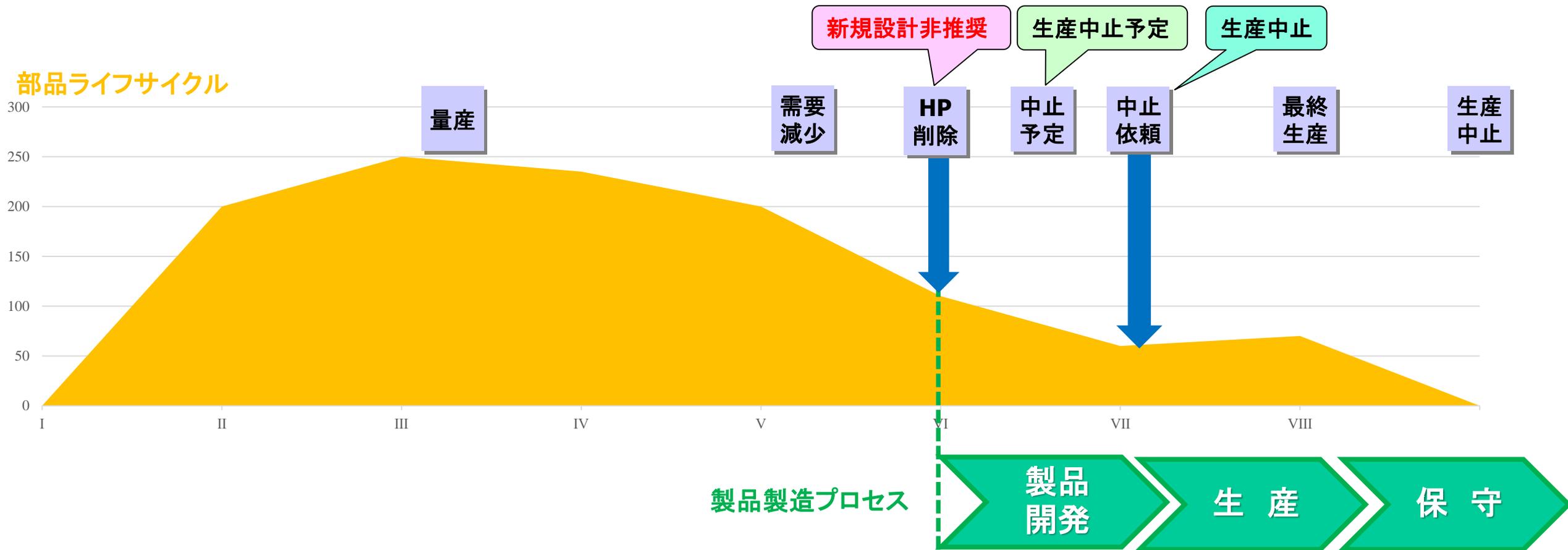
1. 3 EOL部品の発生状況

- EOL部品の発生状況(2011年～)
 - 調査件数: 約280,000点
 - EOL部品: 約14,000点(5%)

データ提供: ジェイチップコンサルティング株式会社

2. 新規設計非推奨情報の有用性

EOLのきっかけとなる、**新規設計非推奨**情報を入手し、新規製品への適用を未然に防ぐことで、セットメーカーでの製品製造プロセスの後戻りが無くなる。また、製品寿命を延ばすことも出来る。



2.1 新規設計非推奨部品の発生状況

・ 新規設計非推奨部品の発生状況

調査件数：約280,000点(2011年～)

EOL部品：約14,000点(5%)

↓ に対して

新規設計非推奨部品：約2,800点(1%)

新規設計非推奨は製造中止の予備群と考えると、
情報発信は少なく感じる。

データ提供：ジェイチップコンサルティング株式会社

2.2 新規設計非推奨情報の推移

新規設計非推奨から供給ステータスが推移した比率

	2017/3～2018/3 1年間	2016/3～2018/3 2年間
新規設計非推奨	82.8%	64.7%
生産中止予定	11.0%	22.0%
生産中止	5.9%	10.0%
その他	0.3%	3.3%

} 1年間で約17%、2年間で約30%が
生産中止／予定へ供給ステータスが推移

新規設計非推奨は製造中止予備群として確度の高い情報

データ提供：ジェイチップコンサルティング株式会社

3. 新規設計非推奨情報の活用事例(1)

日本無線では、取引先サプライヤからのEOL情報の他に、アウトソースを利用し、社内で標準的に使われている部品において、EOL情報(含新規設計非推奨)を入手している。

取引先サプライヤからの情報は、発注が無いと情報発信がされないことが多い。

特に新規設計非推奨は殆ど情報発信されない。

3. 新規設計非推奨情報の活用事例(2)

入手したEOL情報(含新規設計非推奨品)は、部品ランクとして、社内の部品情報システムへ登録し、使用制限を促している。



JRC...	部品ランク(大分類)	部品ランク(小分類)	部品名称(読み)	メーカー名
1	標準部品	部門標準	ジキコン	GRM32DR71...
2	禁止部品	中止予定	ジキコン	GRM188B31...
3	標準部品	部門標準	ジキコン	GRM155B30...
4	一般部品	常用	ジキコン	GRM155B11...
5	一般部品	常用	ジキコン	GRM21BB11...
6	禁止部品	中止部品	ジキコン	GRM188F11...
7	禁止部品	中止部品	ジキコン	GRM188B11...
8	禁止部品	中止部品	ジキコン	GRM188B11...
9	禁止部品	中止部品	ジキコン	GRM188B11...
10	禁止部品	中止部品	ジキコン	GRM188B11...
11	禁止部品	中止部品	ジキコン	GRM188B11...
12	禁止部品	中止部品	ジキコン	GRM188B11...
13	禁止部品	中止部品	ジキコン	GRM188B11...
14	制限部品	非拡販品	ジキコン	GRM188B11...
15	一般部品	常用	ジキコン	GRM31CR31

部品ランク(EOL)

禁止部品 中止部品

禁止部品 中止予定

制限部品 非拡販品 → 新規設計非推奨

※システムでの表示上は、色分けされており、視覚的にわかるようにしている

4. まとめ(1)

新規設計非推奨情報の活用

発注者(セットメーカー)側としては、

- リスクが高い部品として社内システムなどに取り込み、社内周知することで、将来的なEOLリスクの軽減できる
- 新規設計非推奨の部品を把握することで、市場トレンドなどの部品採用判断情報に活用できる

4. まとめ(2)

新規設計非推奨情報の活用

受注者(パーツメーカー)側では、

- EOLリスクが高い部品を早期に市場に提示することができ、顧客側の適切な設計変更・代替メーカー調査などEOL対策時間の確保を促すことができる
- 新規設計非推奨情報を提示することで、販促管理(拡販抑制)ステータスとして活用できる
- 新規設計非推奨情報を提示することで、顧客の反応を見ることができ、生産調整の判断に活用できる

4. まとめ(3)

新規設計非推奨情報を含むEOL情報は、

受注者(パーツメーカー EOLにしたい)

発注者(セットメーカー 新規設計製品への適用を未然に防ぎたい)

両社においてWin-Winの情報になるので、受注者側からの積極的な情報発信を期待します。

ECAALGA

- ・ より広く、
- ・ 使いやすく、
- ・ わかりやすく。

*Electronic Commerce Alliance for
Global business Activity*

実装取引数No1. EDI